

千代田走友会 初詣ラン 2024年1月3日(水)

有楽町マリオン前晴海通り側(有楽町駅銀座口)
8時20分集合、説明 8時30分スタート

1 波除神社(9:00)(1.5km)中央区築地

江戸時代の明暦の大火後、当時はまだ江戸湾が入り込んでいた築地の埋め立て工事が行われたが、荒波の影響で工事は難航した。その最中のある晩、光を放ち海面を漂う御神体が見つかり、万治2年(1659年)、現在地に社殿を建て祀った。その後、波が収まり工事が順調に進んだことから、「波除稻荷」と尊称して厄除けなどに信仰を集めることとなった。

2 佃天台地藏尊(9:20)(3.3km)中央区佃(長居せず静かに通ってください)

佃島はかつて川で囲まれていたことから、子どもたちの水難事故が起こらないようにとの願いで建てられた。イチヨウの木は樹齢およそ400年、今でもすくすく育っている。お地藏様がそばで成長を見守っている。

3 住吉神社 中央区佃

江戸湊の入口に位置し、海運業や各問屋組合をはじめ多くの人々から海上安全、渡航安全の守護神として信仰を集めました。

4 八幡橋(6.4km)(はちばんばし)江東区富岡 元は現在の中央区宝町の楓川に架橋されていた弾正橋(だんじょうばし)であり、「旧弾正橋」「元弾正橋」とも称される。

鉄を主材料として造った鉄橋としては日本最古のものと言われ、国の重要文化財に指定されている。名称は橋の西側に在する富岡八幡宮に因む。

5 横綱力士碑(10:00)江東区富岡

2代横綱陣幕久五郎が発起人となって、明治33年(1900年)に完成。縦3メートル50センチ、厚さ1メートル、重さ20トンの白御影石で、正面に宮小路康文の揮毫で碑銘、裏面に初代明石志賀之助以降の横綱力士と、「無類力士」として雷電の名が並ぶ。綾川五郎次(初代)を2代目、丸山権太左衛門を3代目とする、現在一般的な歴代横綱表は、この碑に基くもの。

6 富岡八幡宮 江東区富岡

伊能忠敬銅像、大関力士碑、巨人力士碑(身長、手形、足形)巨人力士の大きさに驚かされます。

7 深川不動尊(10:40)(7.2km)江東区富岡

8 レトロな街並み 江東区富岡

9 法乗院(えんま大王) 江東区深川

えんま堂:江戸時代から「深川の閻魔」として知られていた。当初の本尊は閻魔であったが、1760年(宝暦10年)に閻魔堂に移された。最近ではハイテク技術を導入し、光や音を駆使しながら閻魔の声で仏の教えを語るように設定されている。

10 採茶庵(さいとあん)(7.9km)

芭蕉は「奥の細道」の旅に出る前、住居としていた芭蕉庵を手放し、しばらくは採茶庵で過ごしたのち、舟で隅田川をのぼり、千住大橋のたもとから奥州へと旅立っていきました。1689年(元禄2年)

11 勝海舟生誕の地(9.8km)

墨田区亀沢 文政6年(1823年)~明治32年(1899年)

「勝海舟生誕地碑」:海舟は父小吉の実家である男谷家で生まれた。現在、跡地は両国公園となっており、公園内に碑が立っている。

12 吉良邸跡(吉良上野介)(11:40) 墨田区両国

忠臣蔵の討ち入りで有名な吉良上野介屋敷跡

13 回向院(えこういん) 墨田区両国

正称は諸宗山無縁寺回向院

幕命によって葬った万人塚が始まり。のちに安政大地震をはじめ、水死者や焼死者・刑死者など横死者の無縁仏も埋葬する。

あらゆる宗派だけでなく人、動物すべての生あるものを供養するという理念から、軍用犬・軍馬慰霊碑や「猫塚」「唐犬八之塚」「オットセイ供養塔」「犬猫供養塔」「小鳥供養塔」、邦楽器商組合の「犬猫供養塔」(三味線の草の供養)など、さまざまな動物の慰霊碑、供養碑、ペットの墓も多数あり、鼠小僧次郎吉の墓もある。

14 品香苑(12:00)(12.0km)中央区東日本橋 打上げ会場 会費3,600円

※駅伝ゴールを観たい人は、歩いて20分ほどで日本橋に行けますので、13時にいけば間に合います。

注意点

- ・12キロを約3時間半で回りますので、走るのはゆっくりです。
- ・混んでいるところは歩いて通ります。
- ・トイレは要所要所ありますが、出来るだけ同じところで済ませるようにしてください。
- ・後ろの方は出来るだけ離れないように付いてきてください。
- ・途中、相生橋で記念写真撮ります。
- ・御朱印をもらう人は先に社務所へ行き先に済ませてください。
- ・富岡八幡宮と深川不動は混雑が予想されますので、お賽銭で並ぶようでしたら、横を素通りして先へ進みます。
- ・打上げ会費は、到着してから集金します、集金係にお願いします。3600円